

報道関係各位

2021年12月15日
株式会社インテージリアルワールド

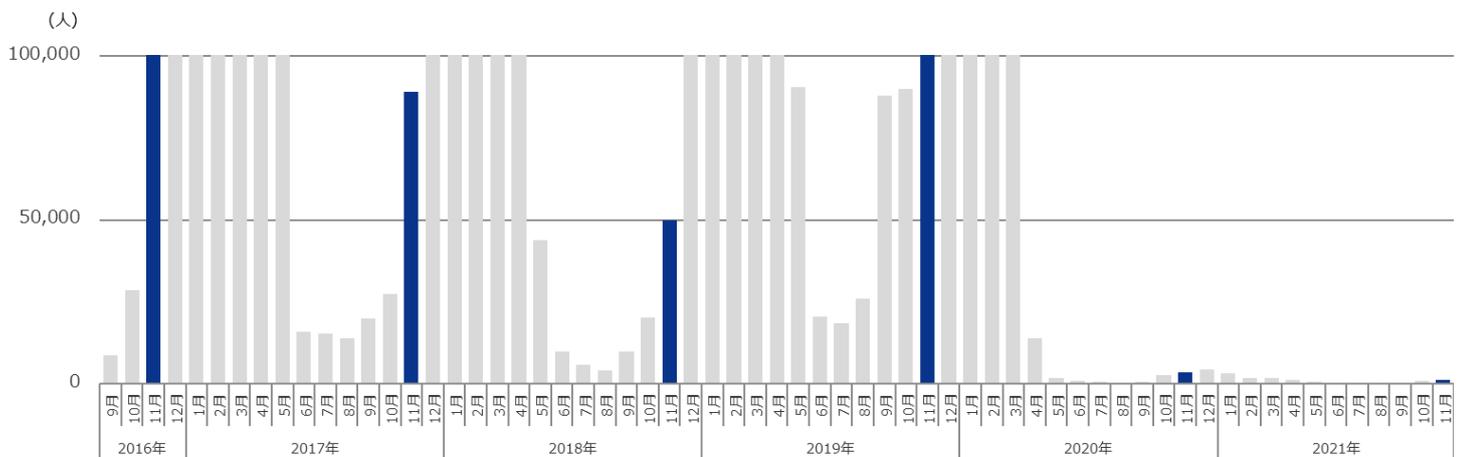
インフルエンザ患者数は例年比 100 分の 1 以下 昨年よりも患者数が少ない状況続く

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の 2021 年 11 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大がレセプトデータに与えた影響を調査・分析しました。

例年であれば本格的なインフルエンザの流行期に入る 11 月ですが、昨年に引き続き今年も流行入りの話を耳にしません。10 月以降、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加も見られず、心配されていた新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も発生していませんが、11 月のインフルエンザ患者数はどのような状況だったのでしょうか。今回も流行状況の指標としてインフルエンザ治療薬の処方動向を見ていきます。

2021 年 11 月の経口インフルエンザ治療薬の推計患者数は約 1,150 人となり、10 月の約 850 人から増加しました。例年であれば 11 月はインフルエンザの患者数が急増する月ですが、2021 年 11 月はコロナ禍前の 2016 年～2019 年平均比で 100 分の 1 以下、2020 年比でも約 3 分の 1 と、インフルエンザの流行が見られなかった昨年よりもさらに患者数が少ない状況でした。10 月、11 月と徐々に患者数が増えてきている状況ではありますが、流行の兆しは今のところ見えていません。

■インフルエンザ治療薬 推計患者数推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

緊急事態宣言全面解除から2ヶ月が経過し、街の賑わいも戻ってくる中、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）が生まれ、新たな脅威として意識されています。オミクロン株は日本でも大流行したデルタ株よりも感染力が高い可能性があり、12月14日時点で65の国と地域に感染者が見つかっています。日本でもオミクロン株の感染者が見つかってきており、今後の動向が気になるところです。

インテージリアルワールドでは今後も変異株の流行、インフルエンザの流行、3回目のワクチン接種開始などが処方に与える影響をいち早く捉え、発信して参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド 企画開発部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールド（旧社名：(株)医療情報総合研究所）は、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020年7月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファーストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>